

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成30年3月12日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	株式会社青木染工場におけるガス焼き高効率ボイラの導入によるCO2 排出削減事業
承認番号	KC1111
排出削減事業者名	株式会社青木染工場
排出削減共同実施事業者名	ESカーボンクレジット合同会社 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	株式会社青木染工場 (住所：岐阜県岐阜市柳津町下佐波 1-61 番地)
事業の概要	C重油ボイラーから都市ガスボイラーへと設備更新すると共に高効率化を実現し、CO2 削減を図る。
排出削減量の計画	2011年度：257 tCO2 2012年度：1094 tCO2 2013年度：1106tCO2 2014年度：1166tCO2 2015~2018年度：1136tCO2 2019年度：871 tCO2 (事業実施期間合計 9038tCO2)
クレジット認証期間	開始日 2012年1月6日 終了予定日 2020年1月5日
排出削減方法論	方法論番号001: ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2017年12月31日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	4,459tCO ₂ (2013年4月1日～2017年12月31日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 都市ガスボイラーは実績確認期間中、継続的に稼働していることをガス供給会社からの伝票にて確認した。□
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 都市ガス供給会社からの請求書等を担当者が記録・保管し、そのデータを元に正確に集計されていることを、証拠との突合、検算などにより確認した。 2) 活動量の正確性 燃料使用実績及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、方法論及びJ・クレジット制度のモニタリング・算定

	<p>規程（排出削減プロジェクト用）Ver.2.9、承認排出削減事業計画に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量は、方法論及び承認排出削減事業計画に従って適切に計算され、算定結果は正確であることを確認した。□</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は 2013年4月1日から 2017年12月31日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2020 年1月5日となっているため算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないことを確認した。□</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 57.6kL、熱量換算 2231.5GJであることを確認した。

以上